

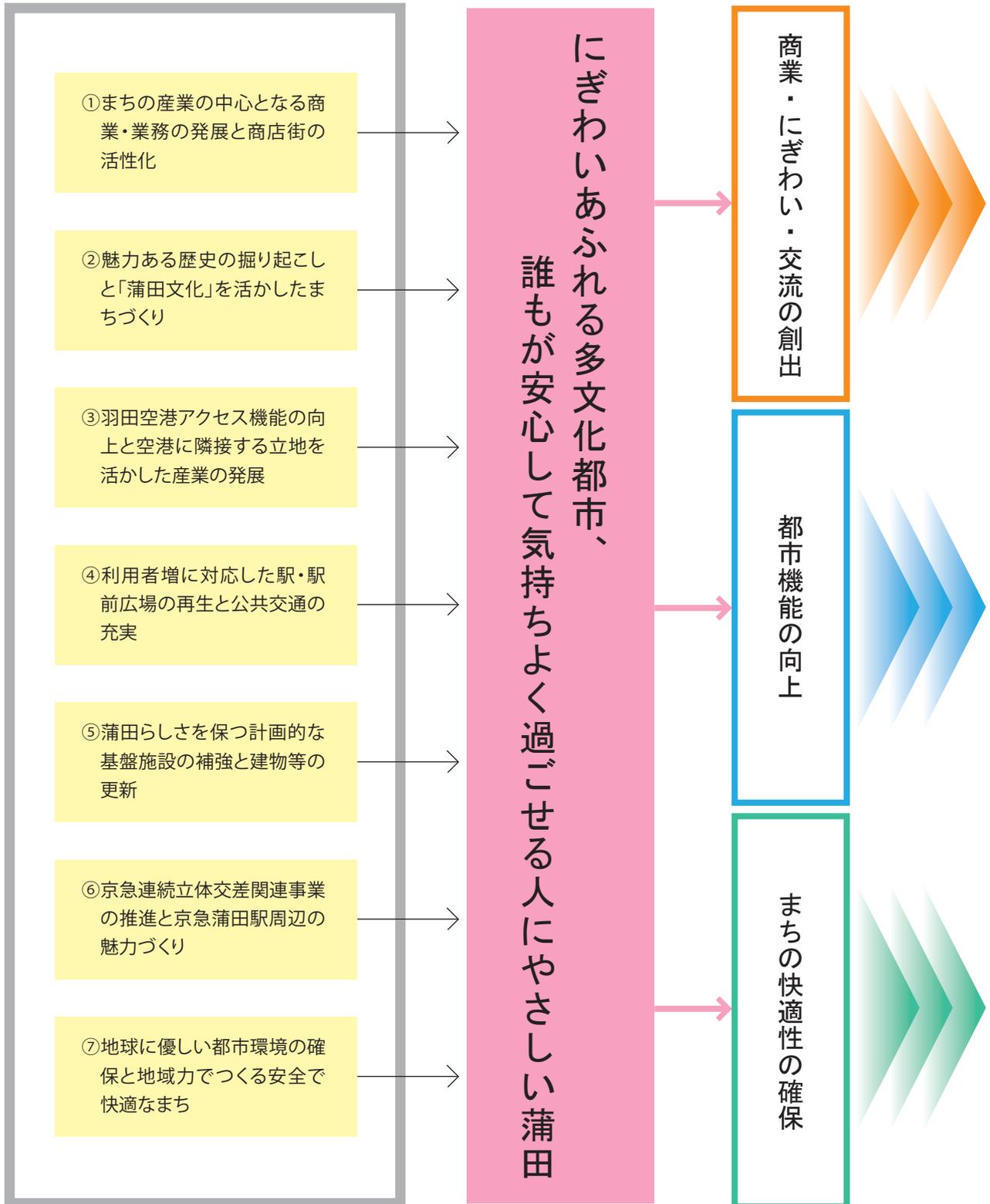
第5章 アクションプラン

12の目標を実現するために、それぞれの行動計画を定め、取り組みを行っていきます。

■ 課 題 ■■■

■ 将来像 ■■■

■ 基本方針 ■■■



目標

1. いきいき元気な商業のまち
2. 人が行き交うにぎわいのあるまち
3. 来街者を魅了し、
何度も訪れたいくなるまち
4. ゆとりを感じる機能性の高い
駅前広場
5. 利便性の高い蒲田駅と公共交通
6. 商・住の調和がとれたまち
7. 京急蒲田駅周辺のまちづくり
8. 歩行者と自転車が快適に
共存できるまち
9. 人にやさしいまち
10. 安全で暮らしやすいまち
11. 清潔で美しいまち
12. 水と緑のある、潤いを感じるまち

アクションプラン

- 1-1 活気あふれる商店街づくり
- 1-2 商店街の環境づくり

- 2-1 人でにぎわう回遊路づくり
- 2-2 快適な歩行者空間の整備

- 3-1 新たな観光施策の展開
- 3-2 人や文化の交流促進
- 3-3 空港利用者サービスの向上

- 4-1 中心拠点としての駅前広場の再整備
- 4-2 蒲田駅東西自由通路の整備

- 5-1 蒲田駅の再整備
- 5-2 空港アクセス機能の強化

- 6-1 建物の共同・協調化、建替えの促進

- 7-1 京急連続立体交差事業関連の整備
- 7-2 京急蒲田駅周辺の新たな魅力づくり

- 8-1 自転車利用対策の推進
- 8-2 放置自転車のないまちづくり

- 9-1 ユニバーサルデザインの推進
- 9-2 バリアフリー整備

- 10-1 災害に強いまちづくりの推進
- 10-2 犯罪のないまちづくり

- 11-1 清潔なまちの維持
- 11-2 美しいまちなみの確保

- 12-1 水と緑の散策路づくり
- 12-2 緑のやすらぎ空間づくり

基本方針1. 商業・にぎわい・交流の創出 【アクションプラン】

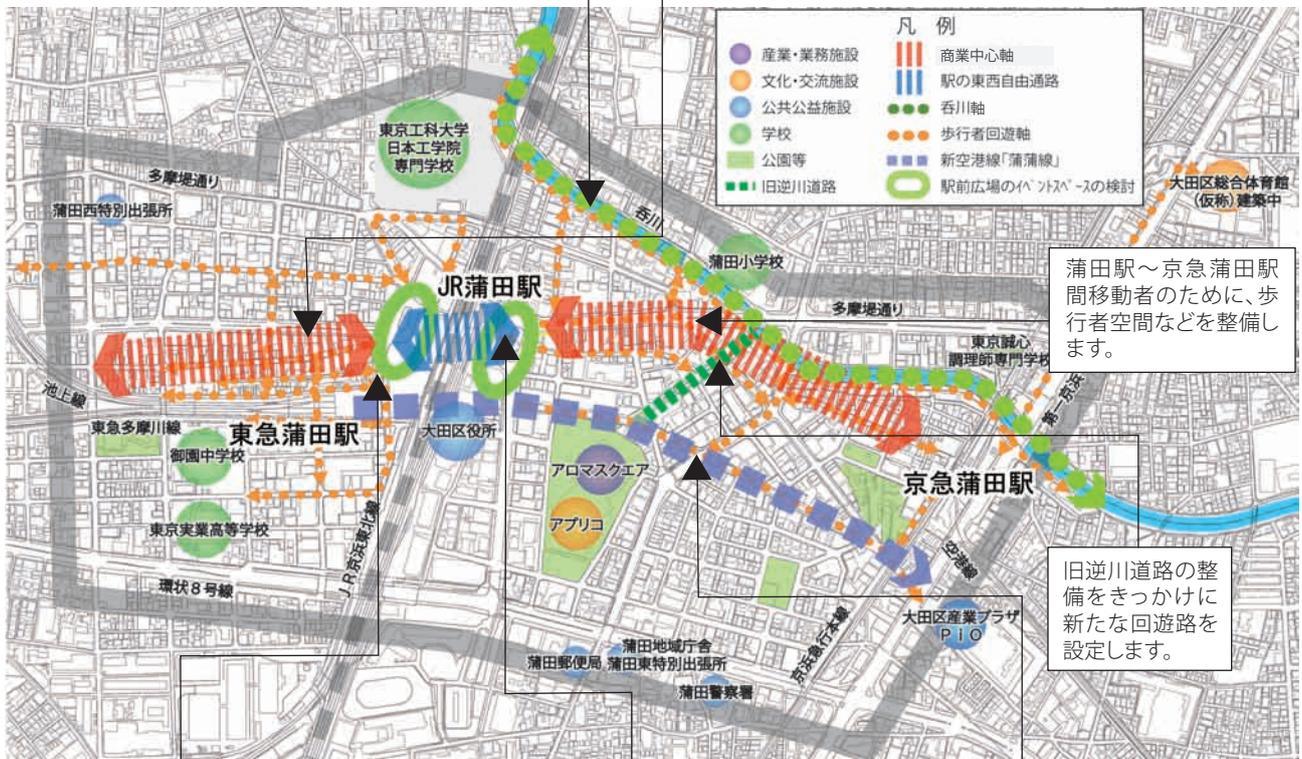
- 1-1 活気あふれる商店街づくり
- 1-2 商店街の環境づくり
- 2-1 人でにぎわう回遊路づくり
- 2-2 快適な歩行者空間の整備
- 3-1 新たな観光施策の展開
- 3-2 人や文化の交流促進
- 3-3 空港利用者サービスの向上

商業中心軸からにぎわいの広がりをつくります。

- ・商店街の魅力やイベント情報の発信
- ・関係者との協力による商店の連続性の確保
- ・商店街のイメージや景観のルールづくりの検討
- ・省エネ設備の導入や緑化・清掃・見回り活動

呑川を魅力ある散策路として整備します。

基本方針1. 商業・にぎわい・交流の創出イメージ



蒲田駅～京急蒲田駅間移動者のために、歩行者空間などを整備します。

旧逆川道路の整備をきっかけに新たな回遊路を設定します。

西口駅前広場での環境整備の検討を進めます。

回遊性を高めるため、東西自由通路の設置を検討します。

新空港線「蒲蒲線」整備検討や事業者等に対して直行バス運行の働きかけを行います。

商業エリア全体の回遊性を高めるための整備や仕掛けづくりを進めます。

- ・西口エリア
サンロード・サンライズ商店街を中心に、大型専門店のある南側と飲食店の多い北側を主たる回遊ラインとし、周辺への影響を考慮します
- ・東口エリア
ぼぷらーど商店街、呑川、アロマスクエア脇の道路を東西の主たる動線とし、旧逆川道路など南北方向のつながりで回遊性を持たせます。飲食店の多い街区への誘導路も考慮します
- ・京急蒲田エリア
あすと商店街を中心にJR蒲田駅・呑川方向への広がり considers

目標 1. いきいき元気な商業のまち

アクションプラン 1-1 活気あふれる商店街づくり

1 地域イベントの活性化

商店街や区民が行う様々なイベントの連携・活性化を図ります。また、姉妹・友好都市や地域の学校などとも連携したイベントを支援し、魅力の向上を図ります。

2 商店街・地域イベントの情報発信

商店街やイベントのPRを支援し、その強化に向けた方策を考えていきます。

3 活力が持続する商店街づくり

商店街は既存商店の後継者問題に取り組みます。また、空店舗に関する情報収集につとめるとともに、建物所有者、新たな出店者との協力・連携により、商店の連続性を確保します。また、学生の増加に伴うニーズの変化にも対応しながら、幅広い年齢層でにぎわう商店街をつくります。



にぎわいのある商店街イメージ

アクションプラン 1-2 商店街の環境づくり

1 商店街の景観づくり

商店街の魅力向上に向けて、建物・景観・用途等のルールづくりを検討します。また、商店街とともに、そのイメージ・コンセプトに基づいた景観を整備します。

2 環境にやさしい商店街づくり

商店街は、街路灯のLED化などの省エネ設備の導入、緑化の推進など環境にやさしいまちづくりを進め、区がこれを支援します。

3 清掃や見回り活動

商店街の清掃や見回り活動をさらに充実し、清潔で安心感のある環境をつくります。



商店街でのミーティングイメージ

目標 2. 人が行き交うにぎわいのあるまち

アクションプラン 2-1 人でのぎわう回遊路づくり

1 呑川軸の整備

呑川の緑道が連続的な空間となる整備や隣接する公共空間の拠点整備で、魅力ある散策路をつくります。

2 回遊路の整備

旧逆川道路の整備で、魅力ある空間をつくり、周辺エリアへの回遊性の拡充により、にぎわいを創出します。また、バリアフリー化による快適歩行者空間の確保や東西自由通路の整備で回遊性を高めます。

3 サインの整備

統一感と分かりやすさを重視し、景観にも考慮したサインを整備します。



方向板・案内板・サインのイメージ

アクションプラン 2-2 快適な歩行者空間の整備

1 安全安心道づくり

高齢者、障がい者、子どもなど誰もが安全で快適に活動できるよう、歩行者空間の整備や障害物対策などによりバリアフリー化を進めます。

2 蒲・蒲連絡路の整備

まちのにぎわいの主軸となる J R 蒲田駅と京急蒲田駅間について、分かりやすく、歩きやすい歩行動線を確保します。

3 主要施設誘導路の整備

蒲田駅・京急蒲田駅から、区民ホール「アプリコ」や大田区総合体育館(仮称)など周辺主要施設へ円滑に移動できるよう整備を進めます。



スロープによるバリアフリーのイメージ

目標3. 来街者を魅了し、何度も訪れたいくなるまち

アクションプラン3-1 新たな観光施策の展開

1 観光のまちづくり

層の厚い蒲田の食文化や商いの魅力を活かし、新たな観光資源の発掘を行います。また、蒲田をPRするキャンペーンやイベントを実施します。

2 蒲田の魅力発信

駅周辺やエリア内の公共施設における観光情報の提供・案内機能を充実させます。また、観光情報サイトやマップを作成するなど、蒲田の「知る人ぞ知る魅力」を区内外に発信します。

3 おもてなしのまちづくり

羽田空港国際化を見すえ、国内外の来街者が居心地よく過ごせるよう、おもてなし意識の向上を図ります。また、多言語表示の案内板や、商店向け外国語対応会話集・メニューなどを作成し、地域で活用していきます。

アクションプラン3-2 人や文化の交流促進

1 地域活動への呼びかけ・連携

商店街、町会、自治会等のイベント・防災訓練等のPRを強化するとともに、周辺の学校も含めた地域コミュニケーションの充実を図ります。

2 観光サポーターや地域ガイドの育成・充実

まちづくりと連携した観光の人材育成と組織化を図ります。

3 外国人との交流の促進

(仮称)多文化共生推進センターなどの施設を活用して、在住外国人との交流や支援を推進します。また、地域行事への参加を呼びかけ、地域交流を高めます。



地域外国人との交流

アクションプラン3-3 空港利用者サービスの向上

1 空港利用者向けサービス施設設置の検討

羽田空港総合案内所など利用者にとって便利な施設の設置の可能性について、関係機関と検討を進めます。

2 空港アクセス向上のための交通手段の検討

空港アクセス向上に向けて、新空港線「蒲蒲線」の整備促進や羽田空港への直行バス運行の実現を事業者に働きかけます。

目標 4. ゆとりを感じる機能性の高い駅前広場

アクションプラン 4-1 中心拠点としての駅前広場の再整備

1 安心安全な歩行者空間づくり

バリアフリー新法重点指定地区としての整備を促進するために、関係者が連携して段差や歩行者障害物解消などの取り組みを進めます。駅前広場の立体的利用などによる歩行者空間確保の検討を進めます。

2 交通結節機能の向上

バス乗降場やタクシー乗り場・待機スペースのより良い場所への設置検討を行います。また、空港アクセス向上のための新空港線「蒲蒲線」整備を促進し、直行バス運行を事業者等に働きかけます。

3 快適な駅前環境づくり

駅前広場施設の再整備などにより、良好な駅前環境を維持します。また、地域住民や関係機関などが互いに連携し、パトロールや美化活動に取り組みます。

アクションプラン 4-2 蒲田駅東西自由通路の整備

1 既存東西連絡通路の改善

既存東西連絡通路の改善を進めていくとともに、蒲田駅東西駅ビルをつなぐコンコースの総合的な改善は、将来の駅舎・駅ビルの再開発に合わせて検討を進めます。

2 東西自由通路の新設

駅北側・駅南側線路上への連絡橋の設置や、新空港線「蒲蒲線」整備に合わせた自由通路の設置についても検討を進めます。



関係機関との検討会議

目標 5. 利便性の高い蒲田駅と公共交通

アクションプラン 5-1 蒲田駅の再整備

1 蒲田駅再生整備の促進

鉄道事業者や関係者と、交通拠点となる蒲田駅の機能強化を目指し、老朽化した駅ビルの建替えを含め、実現に向けた取り組みを進めます。

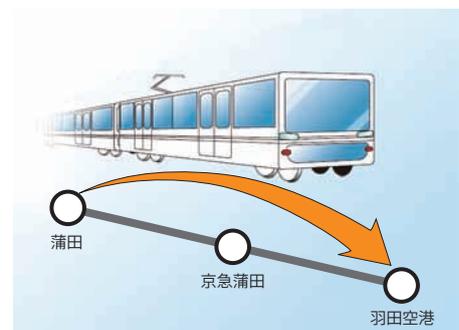


蒲田駅コンコースイメージ

アクションプラン 5-2 空港アクセス機能の強化

1 新たなアクセス交通網の拡充

区内東西交通の解消や羽田空港へのアクセス強化のための新空港線「蒲蒲線」^(※)の実現に向けた取り組みなどを進めます。



羽田空港アクセスの強化

2 既存交通網の拡充

羽田空港アクセスの短期的な対応策として、直行バスの運行を事業者等に働きかけます。その際には、関係機関との役割分担により、発着場の調整・整備、案内板の設置など、円滑な運行を進めるための環境づくりも行います。また、京急連続立体交差に伴うバス路線経路の検討も進めます。

(※) 運輸政策審議会答申第18号において、「京浜急行電鉄空港線と東京急行電鉄目蒲線(現多摩川線を短絡する路線の新設)」として答申され、目標年次(平成27年)までに整備着手することが適当であると位置づけられた路線。

目標 6. 商・住の調和がとれたまち

アクションプラン 6-1 建物の共同・協調化、建替えの促進

1

商業を中心に
住居と融合した
土地利用

商業エリアは低層階に商業・業務の置き込みで連続性を確保し、高層階を住宅等とすることで、店舗と住宅が融合したまちづくりを促進します。



商・住調和のイメージ

2

地区計画等
の導入

まちなみ誘導型の地区計画などの導入により、建物更新を促進します。

3

建物の
建替えの促進

建物更新を図るためのさまざまな取り組みを検討します。また、低炭素社会実現の視点も踏まえ、建替え時における再生可能な建築資材の使用や自然エネルギーを活用した省エネ設備の設置を促進します。

目標7. 京急蒲田駅周辺のまちづくり

アクションプラン7-1 京急連続立体交差事業関連の整備

1 京急連続立体交差事業の推進

京急連続立体交差事業を推進し、高架下は自転車駐車場などの有効活用について検討を行います。

2 京急連続立体交差関連まちづくり事業の推進

京急連続立体交差事業に伴い、駅前広場や関連側道などの周辺整備を推進します。



京急蒲田駅西口駅前広場のイメージ

アクションプラン7-2 京急蒲田駅周辺の新たな魅力づくり

1 再開発、建物共同化等の推進

京急連続立体交差事業における駅西口地区の再開発や建物の共同化を推進します。

2 周辺施設の整備

まちの文化振興拠点となる(仮称)大田区総合体育館や隣接する公園の整備を進めます。

3 サインの整備

国内外からの来街者のために、分りやすい、景観の視点も考慮したサインを整備します。

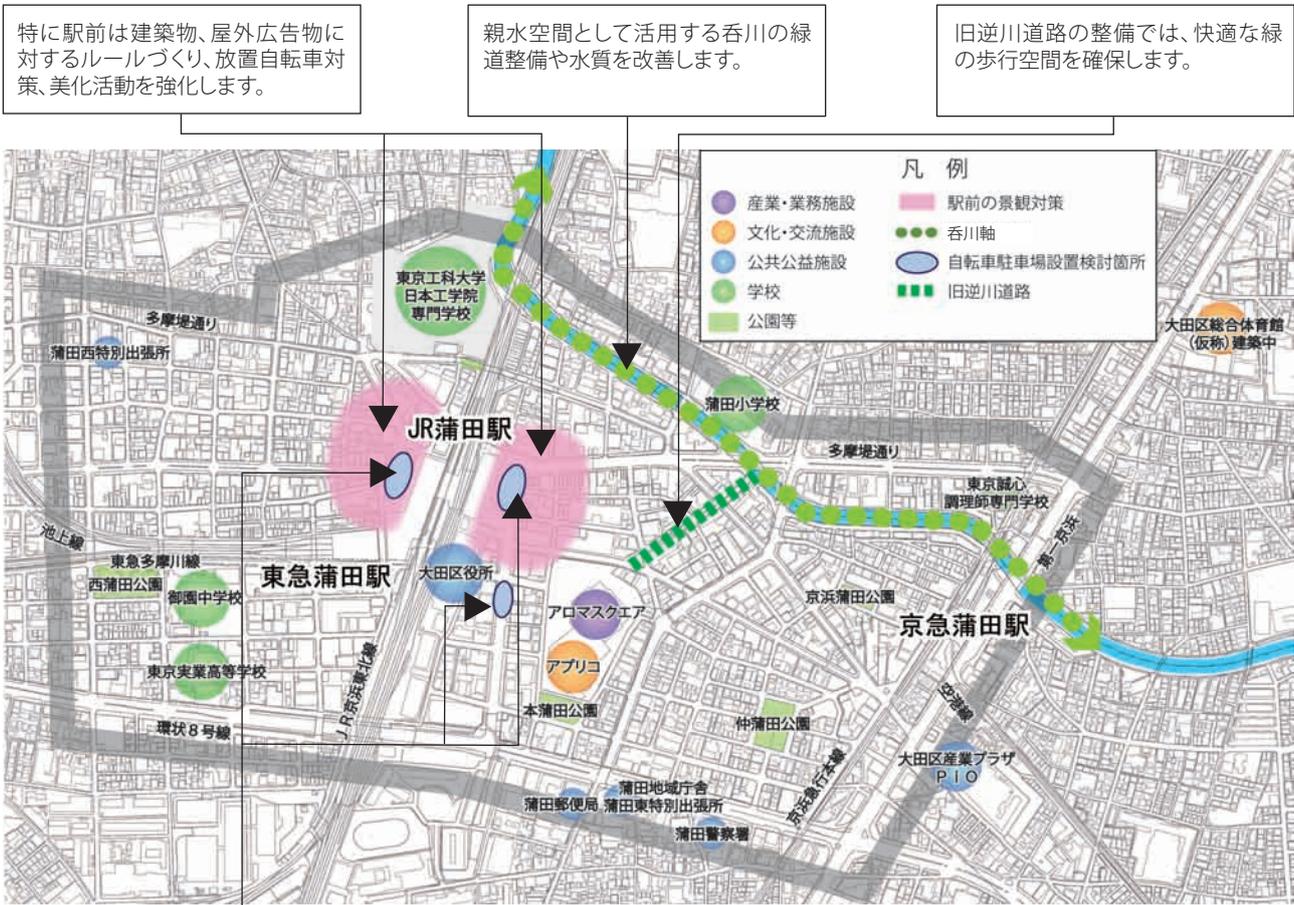
4 地域の特徴を活かした魅力づくり

京急連続立体交差事業、羽田空港の再拡張・国際化を契機に、地域住民が主体となって、地域の特徴を活かしながらまちの新たな魅力づくりを進めます。

基本方針 3. まちの快適性の確保

【アクションプラン】

- 8-1 自転車利用対策の推進
- 8-2 放置自転車のないまちづくり
- 9-1 ユニバーサルデザインの推進
- 9-2 バリアフリー整備
- 10-1 災害に強いまちづくりの推進
- 10-2 犯罪のないまちづくり
- 11-1 清潔なまちの維持
- 11-2 美しいまちなみの確保
- 12-1 水と緑の散策路づくり
- 12-2 緑のやすらぎ空間づくり



新たな自転車駐車場整備を検討します。

全域で様々なアクションプランに取り組みます。

- ・関係者との協力による放置自転車対策
- ・バリアフリー整備、ユニバーサルデザインの推進
- ・建築物の耐震化の促進と防災意識の向上
- ・見回りなどによる犯罪抑制
- ・美化活動による清潔なまちの維持
- ・美しいまちなみ確保のためのルールづくり
- ・公園整備とふれあいパーク活動で緑化を推進
- ・既存自転車駐車場の見直しと再整備

目標 8. 歩行者と自転車が快適に共存できるまち

アクションプラン 8-1 自転車利用対策の推進

1 蒲田駅周辺 自転車駐車場の 整備

空き地となった土地の確保による暫定自転車駐車場整備や既存自転車駐車場の再整備、利用実態に合わせた再配置を検討します。また、(仮称)大田区自転車等利用総合基本計画(検討中。平成22年度策定予定。)に基づき、通勤・通学や買い物利用など幅広い自転車利用者の利便性を高めるため、駅周辺での新たな自転車駐車場整備を検討します。

2 京急蒲田駅周辺 自転車駐車場の 整備

既存自転車駐車場や京浜急行線高架下の活用による整備などの検討を進めます。

3 自転車利用 環境整備 の推進

快適な自転車利用ができる環境を確保するために走行レーンやサイン等の整備について検討を進めます。

アクションプラン 8-2 放置自転車のないまちづくり

1 放置自転車 対策

歩行者が安全で快適に歩けるよう、行政、鉄道事業者、地元関係者がそれぞれの役割で対応し、放置自転車撤去は引き続き取り組みます。

2 自転車利用者 への啓発

区報等の活用や地域住民からの呼びかけなどで、利用者への啓発を促進します。



自転車誘導のイメージ

目標9. 人にやさしいまち

アクションプラン9-1 ユニバーサルデザインの推進

1

ユニバーサルデザイン
基本方針に基づく
まちづくりの推進

基本方針に基づいて策定されたアクションプランを積極的に推進していきます。

2

心のバリアフリー
の推進

まち中で困っている人への声かけや、安心・安全な社会づくりに参加し貢献できるように、豊かな心を育む「心のバリアフリー」教育を進めていきます。

アクションプラン9-2 バリアフリー整備

1

バリアフリー
基本構想の推進

バリアフリー基本構想に基づいて蒲田駅周辺を重点整備地区に指定し、取り組みを推進します。

2

民間建築物の
バリアフリー化
促進

バリアフリー基本構想に基づき、行政が行う基盤・公共施設の整備のほか民間が所有する建築物についてもバリアフリー化を促進します。



バリアフリー整備事例(大岡山駅駅前広場)

ユニバーサルデザインとバリアフリーの定義

ユニバーサルデザイン：障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方

バリアフリー

：障がいのある人が社会生活をしていく上で障壁(バリア)となるものを除去するという考え方

目標 10. 安全で暮らしやすいまち

アクションプラン 10-1 災害に強いまちづくりの推進

1 建築物の耐震化

建築物の建替え・改修時における耐震化を促進します。

2 防災意識の向上

防災訓練、講習などにより地域全体の防災意識と技術を引き続き高めていくとともに、いざという時に助け合いができるような、住民同士の連携、行政との協働による活動をさらに推進します。

アクションプラン 10-2 犯罪のないまちづくり

1 治安維持のためのルールづくり

地域住民を主体に、犯罪のない、安心して過ごせるまちを目指すルールづくりなど行政と連携した対策に取り組み、地域の力で安全なまちを確保します。

2 地域のできる安全なまち

まちに荒廃した雰囲気を生み出さないよう、美化活動(アクションプラン 11-1参照)を引き続き推進します。地域の住民による見回りを行うなど、まちの安全を確保します。また、地域で防犯灯・防犯カメラ等の活用について検討し、犯罪抑制を図ります。



地域住民による見回りイメージ

目標 1 1. 清潔で美しいまち

アクションプラン 1 1-1 清潔なまちの維持

1 美化活動の促進

地域住民・事業者が主体となって、美化活動を進め、清潔なまちを維持します。ごみの収集等については、行政と地元が協力して、実施していきます。

2 清潔で好感度の高いまちづくり

人が行き交うことにより、より美しく整えようという機運を高め、サイン・看板、設備機器等が汚れていたり、壊れたまま放置されないようなまちをつくります。また、建物や周辺の衛生保持を推進します。



地域住民による美化活動のイメージ

アクションプラン 1 1-2 美しいまちなみの確保

1 景観計画・ガイドライン等の策定

景観計画・ガイドライン等を策定し、住民・事業者・行政が一体となって、美しいまちなみづくりに取り組みます。

2 歴史的資源等の活用

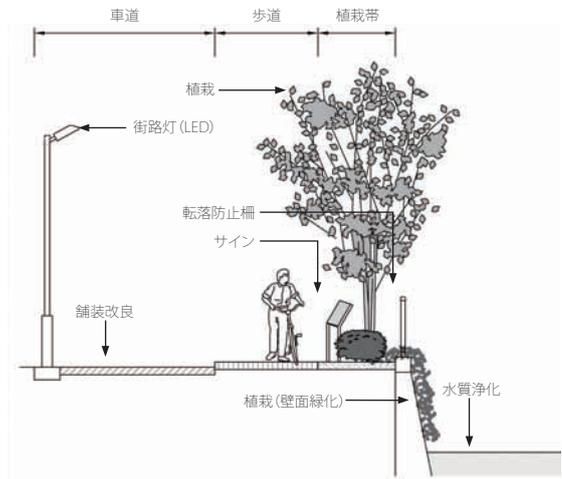
まちなかに存在する地域の歴史・文化をとどめる資源を保全し、まちの風格・味わいを高めます。

目標 1 2. 水と緑のある、潤いを感じるまち

アクションプラン 1 2 - 1 水と緑の散策路づくり

1 呑川軸の整備

呑川沿いに街路樹を植樹し、護岸の壁面緑化を行うほか、沿道を遮熱性舗装などで整備し、路面温度上昇を防ぎます。現在、蒲田駅周辺の呑川沿いには、自転車駐車が設置されている所もありますが、今後の自転車駐車場整備に伴い、整理を進めていきます。



呑川緑道の整備イメージ

2 呑川の水質改善

呑川を親水空間とするための第一歩として、産・官・学が連携して、呑川の水質浄化対策に取り組みます。



池上第二小学校前、日連橋から呑川上流を望む

3 緑道、歩道等の再生整備

旧逆川道路やシンボル道路の整備により、花や樹木などを楽しみながら歩ける散策路をつくります。

アクションプラン 1 2 - 2 緑のやすらぎ空間づくり

1 魅力ある広場づくり

駅前広場などの公共広場を整備し、快適に過ごせる空間を確保します。

2 魅力ある公園緑地づくり

公園のリニューアルや緑地整備、地域のふれあいパーク活動も継続しながら、魅力ある公園緑地づくりを進めます。

アクションプランの整理

主に行政が主体となるものや関係機関との総合調整を行うもの、また、区民が主体となって取り組むアクションプランを整理しました。



（事業者が主体となる公益性の高い事業は、様々な関係者が関わるため、行政が総合的な調整を行いながら進めていく必要があります。）